

人文科学研究所研究叢書

45.『「語り」の諸相 演劇・小説・文化とナラティヴ』

2009年3月5日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格2,800円（税別）

ISBN 978-4-8057-5334-7

まえがき	
『氷屋来る』 —ヒッキー・ナラティヴの謎—	長田 光展
『夜への長い旅路』 —闇の彷徨が意味するもの—	大森 裕二
『尺には尺を』における眼差しと語り —ハムレットの呪詛が甞する世界—	若林 敦
一九四〇年代アメリカの喜劇におけるナラティヴの手法 — <i>Arsenic and Old Lance</i> と <i>Harvey</i> における狂気の扱いの考察—	黒田 絵美子
変容するナラティヴ —「バタフライ・ナラティブ」を語り継ぐ—	新井 典子
魅惑と戦慄の風景 —ハロルド・ピンターの演劇世界—	百瀬 泉
ヴァージニア・ウルフ、『波』のナラティヴ	小野 素子
祭儀の物語性と劇性について —カロリング朝時代のミサの変化を例に—	石田 雄一
愛の語り —大学教育再建のための理念と方法論の提供—	小山 郁夫